

## 「武庫川広田線（上之町工区）整備事業」

令和6年6月17日協議終了

### 行為の概要

申出者	住所 西宮市六湛寺町10番3号 氏名 西宮市長 石井 登志郎
設計者	未定
行為の場所	西宮市 上之町 外
敷地面積	約2,700㎡
施設用途	都市計画道路
規模	未定
備考	

※この資料に記載の内容は、令和6年6月時点のものであり、その後変更となる可能性があります。

**計画策定段階協議に関する意見書について**  
**議題（武庫川広田線（上之町工区）整備事業（計画策定段階協議））**

意見	回答
<p><b>【舗装材について】</b></p> <p>(1) 連続性を確保するために、舗装材は前回審議区間の考え方を引き継ぐことをご検討ください。</p> <p><b>【高木について】</b></p> <p>(2) 連続性を確保するために、高木は前回審議区間同様にモミジバフウとして軸線を通すことをご検討ください。</p> <p><b>【低木について】</b></p> <p>(3) 戸建て住宅が建ち並ぶことが想定されるため、安全に配慮しながら閑静で落ち着いた景観とするのが好ましいと考えます。具体的には、ボックスウッドを直線的に配置して車が走りやすい環境にするのではなく、凸凹がある樹種を選定することや樹種を変えて塊ごとに変化をつけることにより、自動車の速度抑制や乗り入れによる分断の緩和を図ることをご検討ください。</p> <p>(4) 経時的な変化に柔軟に対応できるように、また適度な賑やかさを演出しつつ季節ごとに変化を楽しめるように、混植とすることをご検討ください。具体的には、アベリアのように開花期間が長い樹種を織り交ぜながら開花時期が異なる樹種を選定をご検討ください。</p> <p><b>【植栽帯の形状について】</b></p> <p>(5) 植栽帯が狭まることによって生じる高木への負荷の軽減や、乱横断防止のために、低木は点ではなく線状に配置することをご検討ください。</p>	<p><b>【舗装材について】</b></p> <p>(1) 前回審議区間の考え方を引き継ぎます。</p> <p><b>【高木について】</b></p> <p>(2) 前回審議区間同様にモミジバフウを採用し、緑の軸線を形成させる予定です。</p> <p><b>【低木について】</b></p> <p>(3) 樹種を検討し、閑静で落ち着いた景観形成を目指します。また、乗り入れ幅の縮小に努め、分断緩和を図ります。</p> <p>(4) 管理者との協議や地元への説明などを踏まえて、開花期間が長い樹種を選定するよう検討し、より良い景観形成を図ります。</p> <p><b>【植栽帯の形状について】</b></p> <p>(5) 耐圧基盤を採用することで高木の負担軽減を図ります。低木は、住宅の乗り入れ幅の縮小に努め、できる限り連続するよう配慮します。</p>

**計画策定段階協議に関する意見書について  
議題（武庫川広田線（上之町工区）整備事業（計画策定段階協議））**

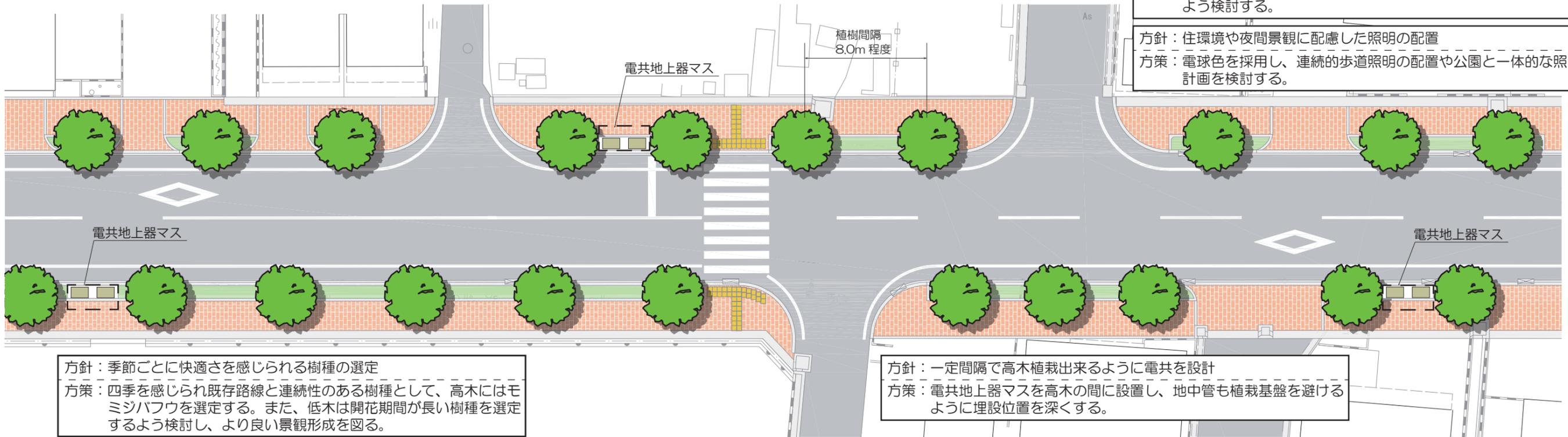
意見	回答
<p><b>【住民の参画について】</b></p> <p>(6) 市民活動の誘発のために、住民と共同で植栽を管理することや、住民が後から参画できる余地のある植栽計画をご検討ください。</p> <p><b>【公園との関係性について】</b></p> <p>(7) シンボルロードという考え方から、公園と街路の空間が一体的で賑やかな風景を作り上げることが重要であると考えます。東端の公園においても、街路の植栽を通して市民の賑やかな生活圏を作り、現状の公園的な使い方を可能な限り継承することをご検討ください。</p> <p><b>【夜間景観について】</b></p> <p>(8) 戸建て住宅が並ぶことを想定した夜間照明として、住民の健康や住環境に配慮した電球色の使用をご検討ください。</p> <p>(9) 歩道の路面や植栽を照らす電球色のポール照明をリズム良く配置し、人々が歩きたくなる落ち着いた景観となるようご検討ください。また、公園と一体的な照明計画をご検討ください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p><b>【住民の参画について】</b></p> <p>(6) 管理者との協議や地元への説明などを踏まえて、植栽計画を検討していきます。</p> <p><b>【公園との関係性について】</b></p> <p>(7) 公園との一体的な空間形成により、より良い景観を創出できるよう設計を進めていきます。</p> <p><b>【夜間景観について】</b></p> <p>(8) 電球色を採用するよう検討します。</p> <p>(9) 電球色を採用し、連続的歩道照明の配置や公園と一体的な照明計画を検討します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

# 方針方策図

※下図はイメージ図です。

方針：高木の列植による緑の軸の形成  
 方策：当該区域は閑静な戸建て住宅が連担する街並みであることから、街路樹の緑により軸性を持った潤いある景観形成を図る。

計画平面図 S=1:250



方針：公園との一体的な整備  
 方策：公園との一体的な空間形成により、より良い景観を創出できるよう検討する。

方針：住環境や夜間景観に配慮した照明の配置  
 方策：電球色を採用し、連続的歩道照明の配置や公園と一体的な照明計画を検討する。

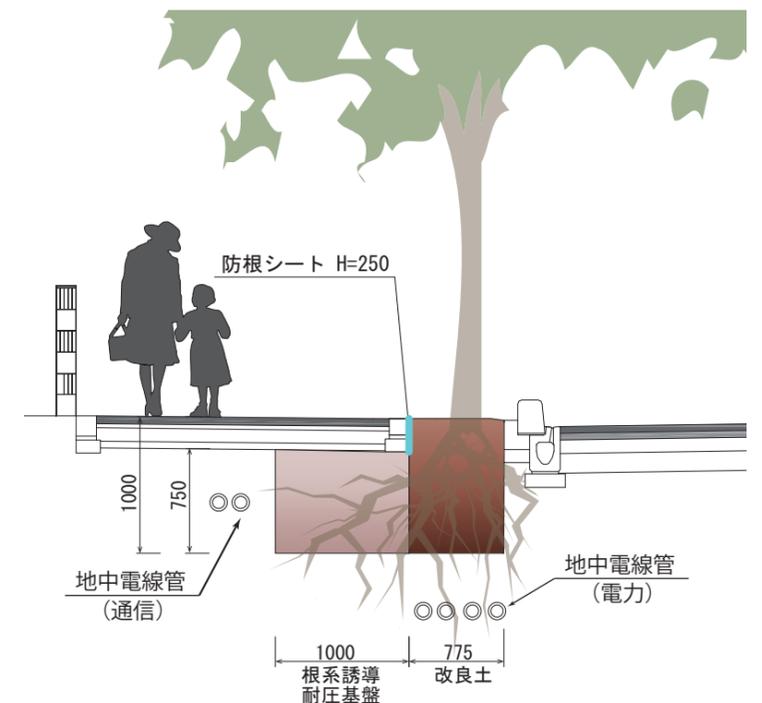
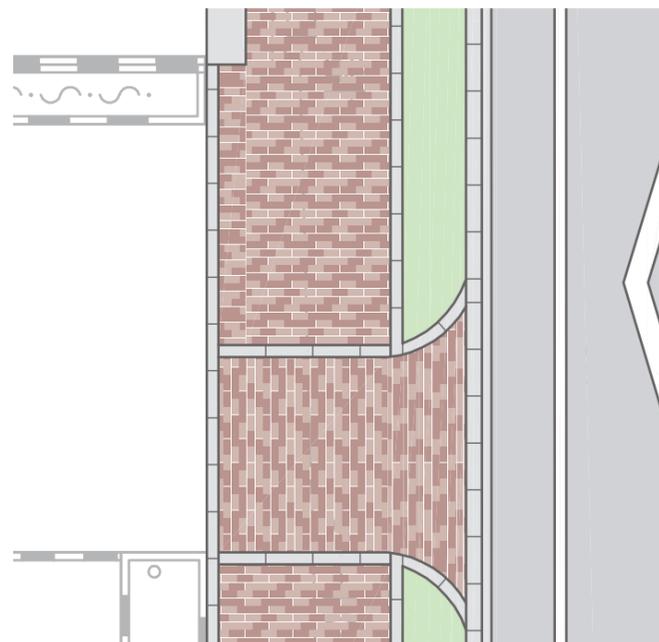
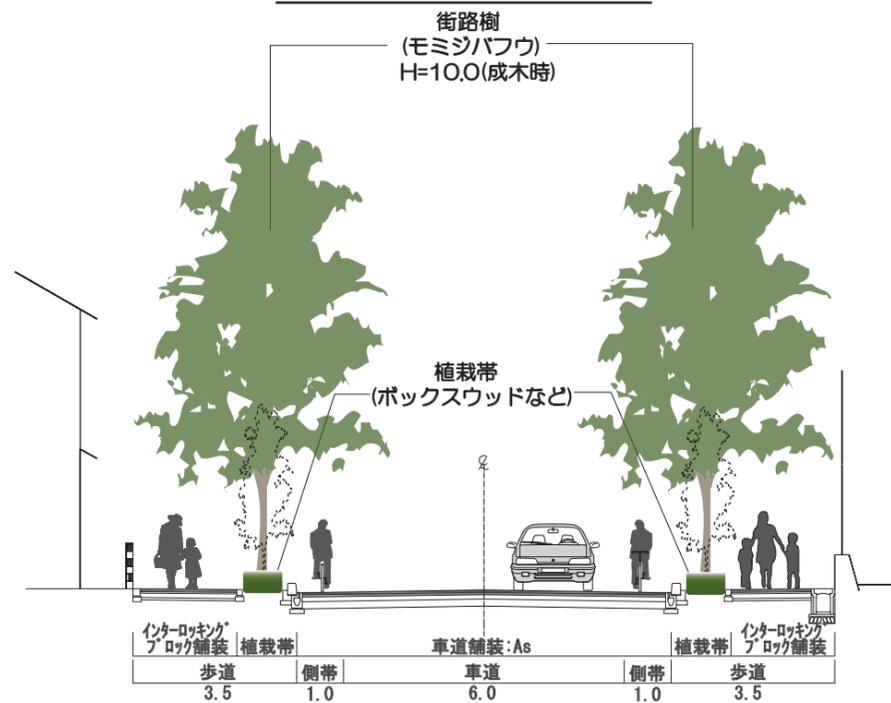
方針：季節ごとに快適さを感じられる樹種の選定  
 方策：四季を感じられ既存路線と連続性のある樹種として、高木にはモミジバフウを選定する。また、低木は開花期間が長い樹種を選定するよう検討し、より良い景観形成を図る。

方針：一定間隔で高木植栽出来るように電共を設計  
 方策：電共地上器マスを高木の間設置し、地中管も植栽基盤を避けるように埋設位置を深くする。

断面図 S=1:150

舗装パターン平面図

植栽基盤断面図



方針：連続した低木による乱横断の防止と足元の緑量の確保  
 方策：強健で葉が密になりやすく、モミジバフウと相性がよい樹種を検討し、閑静で落ち着いた景観形成を図る。

方針：落ちつきのある色合いの舗装ブロックの選定  
 方策：舗装ブロックは既存路線と連続性のある落ち着いた色合いのものを使用し、ランダムパターンの配色とする。

方針：街路樹の根上り対策による不陸のない快適な歩行空間の整備  
 方策：植栽帯に加えて根系誘導耐圧基盤を整備することにより、街路樹の根の成長領域を確保し根上りを防止する。